



おきなわTOWER

一般社団法人 沖縄総合無線センター

〒900-0027 沖縄県那覇市山下町18番26 山下市街地住宅 B-205 TEL: 098-996-3304
E-mail: info@okinawatower.or.jp http://www.okinawatower.or.jp FAX: 098-996-3334

局舎：
沖縄県島尻郡南風原町字新川
TEL: 098-889-7180

移動局通信エリアの拡大！ 無線局維持コストの削減！ 災害時の通信確保！（非常用発電機を完備）



年頭のあいさつ

一般社団法人沖縄総合無線センター
会長 親泊 一郎

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては2024年の新年をお健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。

また、平素より当センター運営に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、国内の景気は、コロナ禍が収束し回復の兆しがあるものの、電気料金や物価の高騰が国民生活に大きな負担となっています。

また、各業界での労働不足は深刻な社会問題となっております。とりわけ、全国的にバス・タクシー事業者の運転手不足は、公共交通の運行に大きな支障をきたしております。

一方、県内の景気は、観光関係産業はじめ経済活動が活発化しましたが、タクシー事業者においては3年に及んだコロナ禍と運転手不足による減便や燃料価格の高騰で厳しい経営状況が続いています。

更に、タクシーのアプリ配車が浸透し、タクシー会社による組織的配車から、タクシー車両がお客様と直接マッチングするアプリ配車の導入が進んでいます。しかし、

キャンセル時のアプリ利用料が運転手負担となるなど課題もあります。今後、アプリ配車への移行によって、乗客へのきめ細かなサービスの低下が懸念されます。

さて、昨年、沖縄本島周辺を迷走した台風6号が県内各地に大きな被害をもたらしました。特に、電話回線の被害が広範囲にまたがり、復旧までに1ヶ月もかかりました。局舎への通信回線も被害を受け会員に大変ご迷惑をお掛けした。今後、電柱から局舎まで通信回線の地中化を検討してまいります。また、7年ぶりに「おきなわ TOWER」鉄塔の補修・全面塗装を行うことができました。ご協力ありがとうございました。今後、修繕・塗装費が高騰する傾向にあり、今後とも効率的な保守・修繕に努めてまいります。

本年も「おきなわ TOWER」の利用促進と施設維持の保守管理と健全運営に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員、関係者の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げて新年のご挨拶と致します。

おきなわTOWER

1 年頭のあいさつ 親泊会長

2 謹賀新年 役員

3 新年のごあいさつ
総務省沖縄総合通信事務所長

4 TOPICS

- I おきなわTOWERの修復工事
- II 非常用発電機の年次点検

5 INFORMATION

- 総務省沖縄総合通信事務所
- (公財)日本無線協会沖縄支部
- (一財)日本アマチュア無線振興協会

6 おきなわTower Office

SCHEDULE

- 1月
 - 中旬 会報誌vol.61 Winter号発行
 - 下旬 三役会議
- 2月
 - 中旬 定期保守点検
 - 29日 2024新春講演会
- 3月
 - 中旬 定期保守点検
 - 下旬 第2回理事会
- 4月
 - 中旬 定期保守点検
 - 下旬 業務監査
- 5月
 - 中旬 定期保守点検
 - 下旬 第1回理事会・通常総会

迎春

謹んで新春のお慶びを申し上げます
会員のみなさまの益々の発展を祈念申し上げます



初日の出(座間味村高月山から慶良間海峡、渡嘉敷島を望む)

一般社団法人 沖縄総合無線センター

会 長	親 泊 一 郎	日本赤十字社沖縄県支部 副支部長
副 会 長	玉 寄 兼 志	パンダグループ無線 代表理事
専務理事	山 城 康 貞	
理 事	大 田 守 春	セコム琉球株式会社 取締役
理 事	前 川 英 之	株式会社ラジオ沖縄 代表取締役社長
理 事	渡 具 知 武 之	沖縄セルラー電話株式会社 取締役執行役員
理 事	石 川 哲 也	沖縄乗用自動車事業協同組合 理事
監 事	知 花 敦	サミットインダストリアル株式会社 代表取締役社長
監 事	野 崎 洋 一	沖縄ガス株式会社 総務部長





新年のごあいさつ



沖縄総合通信事務所長

所長 越後和徳

明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

まずは、元日の能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一般社団法人沖縄総合無線センター及び会員の皆様におかれましては、日頃から総務省の情報通信行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

生活様式や、企業行動の価値認識さえも変えた新型コロナウイルスは、行動制限の緩和等により、日常の生活を取り戻すとともに、観光や個人消費の需要も増加し、沖縄県の経済は回復が鮮明となっています。

さて、社会経済活動を支えるデジタル基盤の整備は、ますます重要となっており、情報通信は従来、重要な社会インフラだと言われてきたところですが、今や社会インフラという位置づけを超え、生活・経済・社会の在り方を規定する大きな根幹となっています。

光ファイバや5G等の整備に向けて一体的かつ効果的な対策を推進する「デジタル田園都市国家構想」実現のために、当所においては、地域協議会による、沖縄県内の市町村における5G整備要望調査結果を関係事業者と共有するなど、地域におけるデジタル実装とインフラ整備のマッチングに取り組んでいます。さらに、5G・IoT等の高度無線環境の実現に向けて、条件不利

地域における光ファイバや、携帯電話のエリア整備を推進するための支援を行っています。また、その基盤を活用し、デジタル実装による地域課題を解決するため、計画策定・推進体制構築支援や、安全な自動運転のために必要な通信の信頼性確保等の検証を含む先進的なソリューションの実用化支援（実証）、並行して地域の通信インフラの整備（補助）などを通じて伴走型支援を実施しています。

自動運転に関しては、新型コロナウイルスの影響や高齢化による離職でタクシー等の運転手不足が深刻化している中、その解消策として期待されています。昨年年第212回国会（臨時会）では、総務省所管補正予算として、高速道路路上にて高度運転自動化である自動運転レベル4の社会実装（分合流支援、遠隔監視など）に必要なデジタルインフラ整備が新たに認められました。

一方、電波利用については、1950年代では、公共分野におけるVHF帯等の低い周波数帯の利用が中心でしたが、1985年の電気通信業務の民間開放をきっかけとして、移動通信分野を中心にニーズが急速に拡大し、現在では、携帯電話等の契約数が日本の人口を上回る状況にあります。これに加え、多くの免許不要局（電波が著しく微弱な無線局等）が開設され、情報通信システムの高度化も相まって、電波利用は地上のみならず海・空・宇宙のあらゆる空間や、国民生活を含めたあらゆる社会経済活動に深く浸透してきています。

沖縄総合通信事務所では、ICTとDXで拓かれるうちの未来のため、様々な施策に取り組んでおりますが、タクシー事業をはじめ、なお一層のサービス向上に結びつけられればと考えています。貴センター並びに会員の皆様の今後の益々のご活躍を心より新念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



TOPICS

topics I

「おきなわTOWER」補修・全面塗装工事

令和5年5月22日から7月31日まで、鉄塔の部材取替と全面塗装工事を行いました。工事期間中、局舎利用の皆様にご不便をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。



●工事状況

●工事完了

topics II

令和5年度非常用発電機の実負荷試験

～ 非常用発電機の自動運転と電源供給点検を実施 ～

令和5年6月27日、(一財)沖縄電気保安協会による非常用発電機の法定点検を実施しました。点検は、局舎へ供給している商用電源を手動により切断し、非常用発電機の自動運転と電源供給について点検するものです。点検の結果、商用電源供給の切断とともに瞬時に非常用発電機が稼働し、安定した電源が供給されていることが確認されました。全ての設備が正常に動作していることが認められました。



●電気保安協会による非常用発電機の点検

●電源の自動切換え点検

総務省沖縄総合通信事務所

Information I

情報通信課

◇ 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」 (2月～5月)

総務省は、青少年が安心・安全にインターネット等を正しく活用できる環境の整備に向けて、多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進学・新入学の時期に特に重点を置き、関係府省庁や関係事業者の方々と連携・協力し、フィルタリング利用の推進や青少年・保護者の方々等の情報リテラシーの向上に向けた取組を集中的に行う「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を実施しており、2月から5月まで各種取組を展開する予定です。

●取組例

- ・インターネットトラブル事例集、SNS 誹謗中傷に関する啓発動画、啓発サイト等の周知
- ・学校、教育委員会、PTA、携帯電話事業者、放送事業者の方々との連携
- ・e- ネットキャラバン (e- ネット安心講座) の実施など

【上手にネットと付き合おう!～安心・安全なインターネット利用ガイド～】啓発サイト

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/



「上手にネットと付き合おう! 安心・安全なインターネット利用ガイド」サイト

【e- ネット安心講座申込随時受付中】

<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>



e- ネットキャラバン無料講座 パンフレット

◇ 実践的サイバー防御演習 (CYDER)

総務省は、情報通信研究機構(NICT)を通じ、国の機関、指定法人、独立行政法人、地方公共団体及び重要インフラ事業者等の情報システム担当者等を対象とした体験型の実践的サイバー防御演習(CYDER)を実施しています。

令和5年12月5日(火)から令和6年1月31日(水)まで、国の機関、地方公共団体等向け、基礎の基礎から学べるオンラインコース「プレCYDER」が受講できます。



実践的サイバー防御演習プレCYDERチラシ

【NICT CYDER】<https://cyder.nict.go.jp/>

◇ 「サイバーセキュリティ月間セミナー in 沖縄」

沖縄総合通信事務所は、沖縄サイバーセキュリティネットワークとの共催で、令和6年2月下旬に「サイバーセキュリティ月間セミナー in 沖縄」をオンラインにて開催する予定です。

本セミナーでは、沖縄県内のサイバー犯罪の状況、最近のサイバーセキュリティ事故発生事案と中小企業向けサイバーセキュリティ対策などの講演を予定しています。

◇ 電波教室をNICT沖縄電磁波技術センターのOPENHOUSE 2023で開催

沖縄総合通信事務所は11月23日(木・祝)、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)沖縄電磁波技術センターが開催する施設一般公開のイベントOPEN HOUSE 2023において、電波利用環境保護の周知啓発を目的に沖縄県電波適正利用推進員協議会とともに電波教室を開催しました。

当事務所からは、電波教室への来場者の方に電波監視車両やスペクトラムアナライザ等の電波監視用機器、電波利用環境保護に関するリーフレットの配付を行ったほか、日本アマチュア無線連盟沖縄支部と連携して一般の方によるアマチュア無線の交信体験中の電波を、電波発射源可視化装置を用いて可視化する実演を行いました。



電波発射源可視化装置のデモ



おもしろ電波教室の様子

「おもしろ電波教室」のコーナーでは小中高生とその御家族を合わせた50名ほどの参加者に対し、電波適正利用推進員による説明とDVD視聴による電波や電波利用のルールについて学習が行われ、その後、ラジオキットや電子ブロックを用いたラジオ製作の体験が行われました。完成後は、手作りラジオから聞こえてくる放送に子供たちから歓声上がり、自作ラジオで放送局の電波を受信する体験を通して、親子で楽しく電波について学んでいただきました。



手作りラジオを作成する参加者

◇ 日本で使用できない外国規格無線機に関する周知広告活動の実施

沖縄総合通信事務所では、沖縄県を訪れる外国人観光客に対して日本国内で使用できない外国規格無線機の使用を未然に防止すること



を目的に①那覇空港国際線ターミナルビル(大型ポスター)②泊ふ頭旅客ターミナルビル(電照看板)において、外国人向けの周知広告を令和5年9月1日～令和6年2月29日まで実施しています。



てんびす那覇での大型ビジョン映像

また、人流が多くなる年末年始には、県内5カ所の大型ビジョンによる広告(15秒スポット映像)を令和5年12月15日から令和6年1月14日までの間実施しました。

(公財)日本無線協会 沖縄支部

令和6年度上半期の無線従事者国家試験等日程

1 国家試験受付期間(インターネットによる受付)

無線従事者国家試験の受付期間は、試験実施の2か月前の月(1日~20日まで)

- (1) CBT (Computer Based Testing(コンピューター利用試験))の実施
第二級・第三級陸上特殊無線技士、第二級・第三級海上特殊無線技士及び第三級・第四アマチュア無線技士の6資格はCBT方式の試験を連日実施しており申請を常時受付けております。
※詳しくは(公財)日本無線協会 <https://www.nichimu.or.jp>で確認願います。
- (2) 国家試験(一般定期試験)
- ・2月9日 特殊無線技士(一海特、航空特、レーダ、国内電信)
 - ・2月10日 特殊無線技士(一陸特)
 - ・2月21日 第四級海上無線通信士
 - ・2月22日 航空無線通信士
 - ・3月12日~15日 第一~第三級総合無線通信士及び第一~第三級海上無線通信士の通信術の試験
 - ・3月13日~15日 第一~第三級総合無線通信士及び第一~第三級海上無線通信士
 - ・4月6日 第一級アマチュア無線技士
 - ・4月7日 第二級アマチュア無線技士
 - ・6月11日 特殊無線技士(一海特、航空特、レーダ、国内電信)
 - ・6月12日 特殊無線技士(一陸特)
 - ・7月9日~10日 第一級陸上無線技術士
 - ・7月11日~12日 第二級陸上無線技術士
 - ・8月6日 第二級アマチュア無線技士
 - ・8月7日 第一級アマチュア無線技士
 - ・8月21日 第四級海上無線通信士
 - ・8月22日 航空無線通信士
 - ・9月10日~13日 第一~第三級総合無線通信士及び第一~第三級海上無線通信士の通信術の試験
 - ・9月11日~13日 第一~第三級総合無線通信士及び第一~第三級海上無線通信士

2 主任無線従事者講習(インターネットによる受付のみ)

- ・随時受講型講習(eラーニング)
- ・同時受講型講習(対面式講習):(公財)日本無線協会本部(東京中央区)のみでの実施

3 無線従事者養成課程(インターネットによる受付のみ)

- ・5月14日~15日 第二級陸上特殊無線技士(那覇市開催)

※詳細は(公財)日本無線協会
HP(<https://www.nichimu.or.jp>)
で確認願います。

「無線従事者 国家試験、主任講習、養成課程、認定講習課程、認定新規訓練」
(公財)日本無線協会沖縄支部【総務大臣 指定試験機関、指定講習機関】
〒900-0027 那覇市山下町18-26 山下手街地住宅2階A-201 電話:098-840-1816

(一財)日本アマチュア無線振興協会 (JARD)

アマチュア無線技士養成課程講習会について

—アマチュア無線技士の国家資格をとろう—

アマチュア無線技士養成課程講習会

総務省認定の養成課程講習会

コース & 料金

コース	講習期間	授業時間	受講料等
これから始める方には 第四級標準コース	2日間	法 規 6時間 無線工学 4時間	一 般 23,150円 18歳以下 9,850円
ステップアップ! 第三級短縮コース	1日間	法 規 4時間 無線工学 2時間	一 般 12,950円 ※受講いただくには条件があります。

沖縄管内では、株式会社沖縄電子で第四級標準コース、第三級短縮コースを実施します。
日程等の詳しいお問い合わせは、沖 縄 電 子 : 〒901-2223 宜野湾市大山 3-3-9 ☎ 098-898-2358

3 アマ eラーニング

今日※からはじめられる

常時
募集中

※クレジットの場合は、営業日の16時までにお申込みいただくとID/PWを即日発行しますので、その日から学習をはじめられます。16時以降のお申込みは翌営業日の発行となります。

eラーニングとは、パソコンとインターネット環境を利用した講習会です。

特
徴

- ◇スマホ対応で、通勤・通学・ちょっとした休憩時間に受講できる!
- ◇eラーニングなら離島など講習会の少ない地域の方も自宅でも受講できる!
- ◇修了試験は、全国約300カ所のCBTテストセンターで受験できる!
(沖縄管内では、那覇市、沖縄市、宮古島市、石垣市で受験できます)



第三級アマチュア無線技士 eラーニング標準コース <総務省認定講習会>

募集時期: 常時募集

講習時間: 法規 10時間・無線工学 6時間

※受講にあたってはパソコンとインターネットの接続が必要
必要です。スマホやタブレットのみでも受講できます。

「4アマ」または「修了試験結果通知書」をお持ちの方は

受講料等 12,950円

(無線従事者免許申請手数料を含む)
※無資格からの受講料等は 27,250円

- ◎お申込みはこちらの URL から https://jard.or.jp/eln-center/3rd-class/3rd-class_news.html
- ◎問い合わせ先 一般財団法人 日本アマチュア無線振興協会 (JARD)
eラーニング事業センター TEL: 03-3910-7253

おきなわ TOWER Office

お知らせ

1 新規会員

○ 正会員

コミュニティ FM 放送局

(株)FMしまじり (エフエムよなばる)

代表取締役 小山 信二 与那原町字上与那原 464

2 2024情報通信講演会

日時 令和6年2月29日(木) 15時30分

場所 沖縄県青年会館

主催 沖縄総合無線センター

講師 総務省沖縄総合通信事務所長 越後 和徳 様

演題 「沖縄地域における情報通信の動向(仮称)」

全国自動車無線連合会専務理事 岡崎 邦春 様

演題 「地域共同利用型 IoT 無線の創出」

賛助会員

HFS 株式会社HFシステム

<http://www.hf-sys.com>

執行役員 沖縄支店長
波平 三雄

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地1丁目1-1
パレットくもじ9階
TEL: 098-988-0835
MAIL: m-namihira@hf-sys.com

Panasonic

沖縄パナソニック特機株式会社

代表取締役社長 玉山 憲是

本社 那覇市西 2-15-1 TEL098-868-0131
中部営業所 沖縄市美原 2-25-11 TEL098-939-3891

電気・空調・電気通信工事 第一工業株式会社

代表取締役社長 上里 幸春

沖縄市美原 3-18-13
TEL:098-934-9801

無線システムのパイオニア



新潟通信機株式会社

本社/ソリューション部

☎ 025-282-1860

担当拠点/東京支店

☎ 042-590-7260

IP無線機のご用命は、お気軽にお問合せ下さい。

西菱電機(株)

◎情報通信営業部 IP無線機取扱担当

☎ 06-4797-7610

Fax 06-4797-7635

業務用無線通信機器・IP無線の専門店

(有)電通工

◎無線機器の設置・工事等ご相談に応じます。

☎ 098-933-9776

Fax 098-933-6296

アンテナ・鉄塔のスペシャリスト



電気興業(株)

沖縄営業所

浦添市前田 2-1-11

☎ (098)877-9002

沖縄県知事許可(搬-19) 第9285号

電気工事・電気通信工事

無線局登録点検事業者 沖二第 0017号

KDS 有限 興発電子産業

代表取締役社長 玉城 正利

〒901-2227 沖縄県宜野湾市字地泊2丁目37番1

マサミツビル202

TEL (098) 897-4663

FAX (098) 897-4562

携帯 080-1788-1334

E-mail:kds_tamaki@m3.dion.ne.jp

各種無線システム販売、施工、保守



株式会社 興洋電子

代表取締役 多良間 洋二

本社/沖縄県那覇市字安謝 638 TEL(098)863-5003

営業部/沖縄県与那原町東浜 81番2 TEL(098)946-9801



電気設備・通信設備
防災無線・監視カメラ

デルタ電気工業株式会社

沖縄県宜野湾市我如古 2-36-15

TEL 098-897-0513 FAX 098-898-6561



沖縄シャープ電機株式会社

〒903-2002 那覇市伊弉 10-1 TEL 098-882-2231



富士電機グループ特約店
メタウォーター(株)特約店
ダイキン空調機特約店

株式会社 シンテック

代表取締役 新里 順一

本社 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅 2丁目4番51号

TEL 098-867-1111 FAX 098-868-9616

九州営業所 〒802-0073 北九州市小倉北区貴船町 13番9号

TEL 093-923-1111 FAX 093-922-3455

E-mail:shinzato-juunichi@shintec-okinawa.co.jp



おきなわTOWER 利用料金及びサービスエリア

おきなわTOWER

利用料金

◎入会金(正会員):10万円
※正会員は不要(個別利用契約)

◎会費(プラットフォーム利用料金)

Aプラットフォーム 55,000円
Bプラットフォーム 50,000円
Cプラットフォーム 45,000円
Dプラットフォーム 35,000円

◎鉄塔共益費 プラット利用料金の7%
※鉄塔保守及び点検

◎無線室 3,500円/㎡
◎局舎共益費 20,000円(一律)
※局舎・空調電気料及び保守、局舎警備
非常用発電機保守、局舎建物・構内設備保守

※**非常用発電機(100KVA) ※継続運転120h**

◎無線設備電気料金(個別メータ)
個別メータ以外 1,900/1ch

◎専用回線(個別)

GL:148m

一般社団法人 沖縄総合無線センター

SCPCデジタル無線400MHz帯エリア図

実例年月	平成21年8月
デジタル車載用無線機	EF-3257 f:467.4375MHz 5W
基地局送空中線(海拔高:181.5m)	HG-4001 5.15dB
基地局受信空中線(海拔高:195.9m)	SV-16-400F
移動局空中線(地上高:2m)	ホイップアンテナ 4.15dB

緑色 概ね良好な通話ができる
黄色 場所を避へば通話ができる
赤色 ほとんど通話ができない

SERVICE AREA

編集後記

平穏な一年を祈念します

元日早々能登半島大地震が発生した。いまだに多くの行方不明者の捜索が続いている中避難所での災害関連死も起きている。早急な2次避難所の確保と被災者支援の対応が急がれる。更に、2日、羽田空港での日航機と海上保安庁機の衝突事故、3日には、北九州小倉での大火災と災害と事故が相次いだ年明けとなった。

昨年、沖縄でも本島周辺を迷走した台風6号により本島各地で大きな被害が発生した。「おきなわ TOWER」局舎も停電・復旧を繰り返し、非常用発電機が延べ61時間も稼働した。8年前に台風・災害対策として、燃料タンクを増設したお陰で燃料補給せずに長時間運転できた。鉄塔、アンテナには大きな被害はなかったものの、局舎引き込みの通信回線が断線し復旧に23日も要した。一部会員には大変ご迷惑をお掛けした。今後、電柱から局舎まで通信回線の地中化を検討します。年の初めに、改めて日頃の備えを痛感し、平穏な一年であるようお願いしたい。

今年もよろしくお願いいたします。

山城 長嶺

